

## 再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

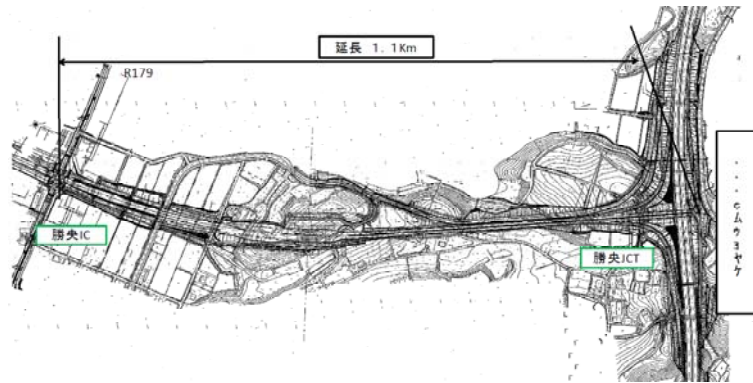
担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

<b>事業名</b>	地域高規格道路 <small>みまさかおかやま</small> 美作岡山道路 一般国道374号 <small>ゆのこうしやうおつ</small> 湯郷勝央道路（延伸）	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	岡山県
<b>起終点</b>	自：岡山県勝田郡勝央町黒土 至：岡山県勝田郡勝央町黒土	<b>延長</b>	1. 1km		
<b>事業概要</b>					
<p>本事業は、岡山県岡山市東区瀬戸町から同県勝田郡勝央町に至る延長約36kmの地域高規格道路「美作岡山道路」の一部を構成し、現道における朝夕の渋滞解消や交通安全確保を目的とする延長1.1kmのバイパス事業である。</p>					
H19年度事業化		都市計画決定 無し		H20年度用地着手	
H21年度工事着手					
<b>全体事業費</b>		35 億円		<b>事業進捗率</b>	
		54%		<b>供用済延長</b>	
		0km			
<b>計画交通量</b>					
3,500台/日					
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体)		<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体)	
	(事業全体)	13/33億円		61/61億円	
	1. 8	(事業費：12/32億円) 維持管理費：0.9/0.9億円		(走行時間短縮便益：39/39億円) 走行経費減少便益：10/10億円 交通事故減少便益：12/12億円	
	(残事業) 4. 9				
<b>基準年</b>					
平成23年					
<b>感度分析の結果</b>					
<b>事業の効果等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑なモビリティの確保（美作地域から岡山地域への定時性の確保）</li> <li>・安全で安心できるくらしの確保（美作市中心部から三次医療施設へのアクセス向上）</li> <li>・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路「美作岡山道路」の一部を構成）</li> <li>・個性ある地域の形成（湯郷温泉、岡山ファーマーズマーケットなど主要観光地へのアクセス向上）</li> </ul>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>					
沿線の首長及び議会議長で構成する「美作・岡山道路整備促進期成会」など複数の団体から早期整備要望を受けている。					
<b>事業評価監視委員会の意見</b>					
<p>本路線は、中国縦貫自動車道、山陽自動車道と一体となって高規格道路網を形成するとともに、美作圏域と岡山圏域との交流を促進し、県東部地域の活性化に重要な役割を果たす道路である。</p> <p>本事業は、所要時間の短縮、交通渋滞の解消、災害時の迂回路確保を図るものであり、事業の必要性を認める。よって、現計画を継続とする県の判断は妥当である。</p>					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>					
地域高規格道路「美作岡山道路」の佐伯IC～熊山IC間が供用開始（平成18年2月22日）					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>					
用地取得は、概ね完了しており、今後、改良工事を推進する。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>					
今後も関係機関と調整を図り、平成27年度の供用を目指し、事業を推進する。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>					
建設発生土の有効利用や建設副産物の発生抑制等により、今後ともコスト縮減を図る。					
<b>対応方針</b>					
<b>対応方針決定の理由</b>					
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					

## 事業概要図

位置図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。